



日本共産党高島市議団
福井 節子議員

高島市では、市の一大事業として「新ごみ処理施設建設」に向けての議論が行われている。新年度予算案には、生活環境影響調査費3千872万2千円が計上された。



新年度予算(案)から見る
新ごみ処理施設
建設について

問

近隣住民が納得しないまま、
当面の日程は推進するのか

答

具体策をお示しして、市民の皆様のご意見を施設整備基本計画に反映してまいります

問

12月議会の予算執行に係る「住民や関係者の理解が得られるよう、十分に合意形成を図ること」とした附帯決議を採択したが、説明会等で「十分な意見聴取がなされている」と判断しているか。それでも業務契約を締結し、執行していくのか。

答

市長

地域のご要望に応じて説明会をさせていただき、ご意見を伺っておりますし、一部の周辺区では自主的に区民アンケートを実施され、その声を市へ届けていただいています。

問

市は搬入路などを提示しながら、「反対」の意向を示され

加えて、市では市政モニターアンケートを実施し、市民の皆様のご意見、ご意向も確認しているところであり、今後とも広く意見聴取をしてまいります。

また、議決いただいた附帯決議付きの不動産鑑定評価書作成業務にかかる予算は、事業費算定の基礎資料となりますことから、すでに契約をしたうえで適切に執行しているところであります。

る近隣区もある。「住民合意」を後回しにして整備基本計画の策定や環境影響調査など進めていくのか。

答

市長

搬入路・付帯施設および地域振興策は、現時点で市がお示しできるものではなく、いずれも予算措置を伴うことから市議会にお諮りする要件であり、市議会での判断を無視し、具体的な付帯設備や地域振興策をお示することは「議会軽視も甚だしい」ということとなりますので、ご理解いただければと存じます。今後、周辺地域の合意形成を図っていくにあたりましては、技術的な根拠や実現性・経済性など、十分調査したうえで、具体的な方策をお示しして、地域の皆様、市民の皆様のご意見を施設整備基本計画に反映してまいります。

